

日本核酸医薬学会
学会員 各位

AMED 研究班
「RNA 標的医薬創出に資する、
RNA 分子完全長構造に関するデータ基盤の構築」
(研究代表；理化学研究所 河合 純)

(お知らせ)

核酸医薬のためのゲノミクス・データベース (D3G) の更新

学会員の皆様よりご意見をいただきながら開発・維持を進めておりますデータベース D3G (Database for Drug Development based on genome; 脚注 1 参照) (<https://d3g.riken.jp/>)ですが、アップデートを 2021 年 1 月に実施致しました。データベース・ホームページ上では案内しておりますが、改めて共有させていただきます。

D3G は創薬や医科学研究に有用なヒトや霊長類、モデル動物のゲノムと遺伝子のデータベースです。RNA を標的とする核酸医薬の創薬や、モデル動物のゲノム編集などにおいて、広く利用されています。

利用者のご要望に基づいてアップデートされた内容は下記のとおりです。詳細については、リリースノート等も参照ください。

(<https://d3g.riken.jp/release/latest/>)

- * ラットに関するデータ(mRNA 配列など)の追加
- * RefSeq モデルについて、EntrezGene の情報を付加
- * カニクイザル・マーモセットの遺伝子発現テーブル(遺伝子単位)を追加

なお配列データは高速塩基配列検索ツール GGGenome でも検索可能です。併せてご利用ください(<https://gggenome.dbcls.jp/>)。

どうぞよろしくお願い致します

脚注 1 :

核酸医薬の非臨床試験における有効性と安全性の評価を対象として、ヒトならびに動物のゲノム DNA・RNA (mRNA および pre-mRNA) の配列情報を格納したデータベース (脚注 2)。公共データの品質が十分でなかった非ヒト霊長類モデル動物 (カニクイザルおよびマーモセット) については、独自の測定を実施することでデータセットの高品質化を実現しました。ゲノムアセンブルに関する論文が近日中に **Scientific Data** 誌から出版される予定です (脚注 3)。

脚注 2 :

創薬に資する霊長類のオミックスデータベース D3G の公開：
https://www.riken.jp/pr/news/2020/20200325_2/ (データベース公開におけるプレスリリース)

脚注 3 :

査読前論文が公開されています (doi: <https://doi.org/10.1101/2020.12.04.411207>)